



「宇宙食を通して育まれる子どもの力」

岩津小学校5年生は、食について探究した。バケツ稲を育てた経験から、食への関心が広がり、宇宙食に目を向けた。宇宙食を実食すると、普段食べているお米とさほど味が変わらないことを知った。また、地球で食糧不足になった時、宇宙で食べ物を育てることができる未来があることや昆虫食の存在も知った。宇宙食について探究したことで、今当たり前前に食事ができることに感謝していきたいと考えようになった。

(文責：岩津小学校 谷口 亮平)